

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.14	行	24行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	桂川		
府 県	京都府	市町村	京都市	地先	-	

●現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針

②応急的な堤防強化

破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的な堤防強化を実施。

その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

●位置図



●具体的な整備内容

応急的堤防強化延長 約 23km

事業の数量 諸元等

浸透対策 L=23km

洗掘対策 L=19km

越水対策 L=18km

(対策延長 重複有り)

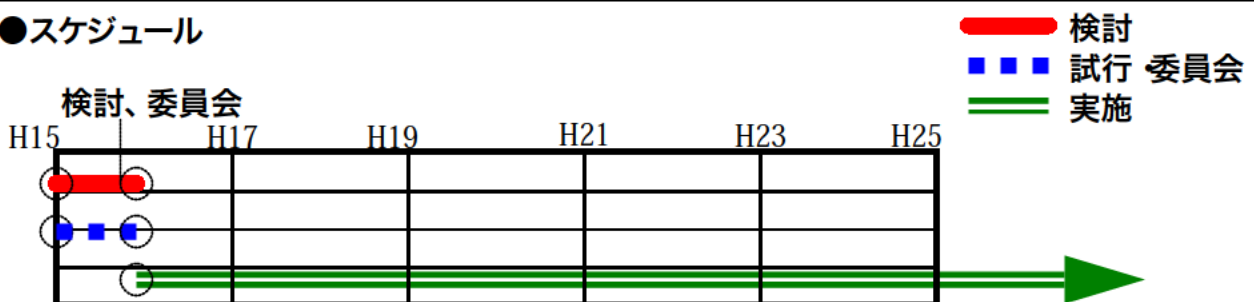
●事業費

全体事業費 約 800億円

・**〆**整備計画期間内事業費

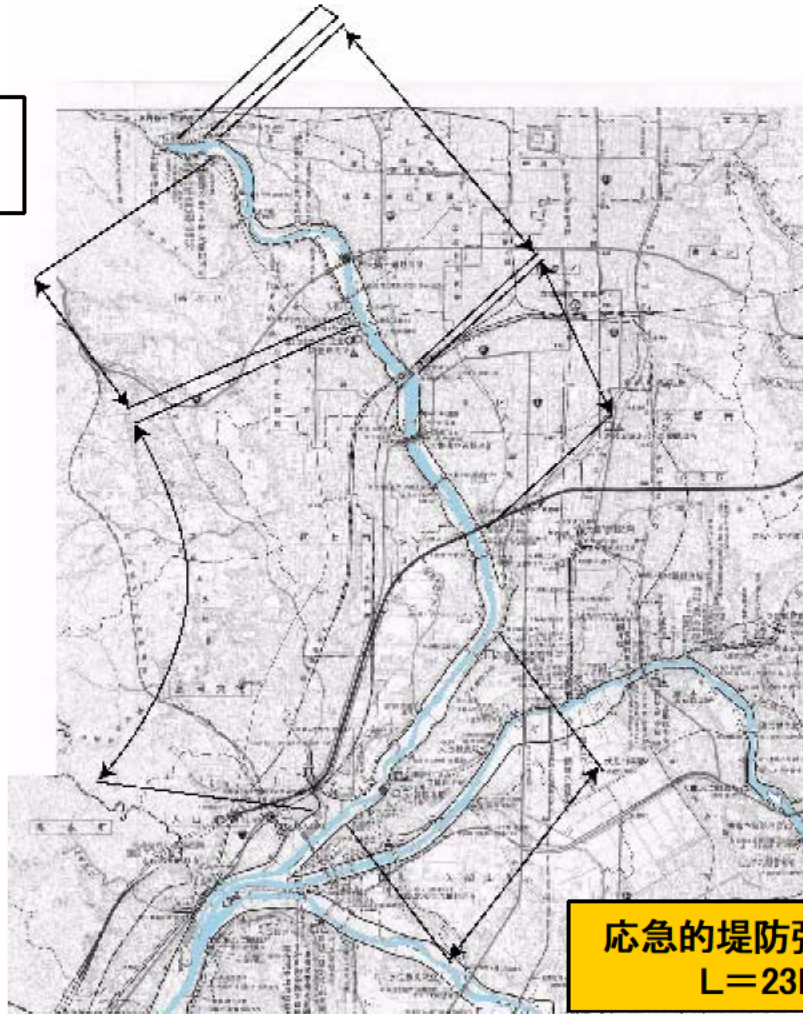
約 600億円

●スケジュール



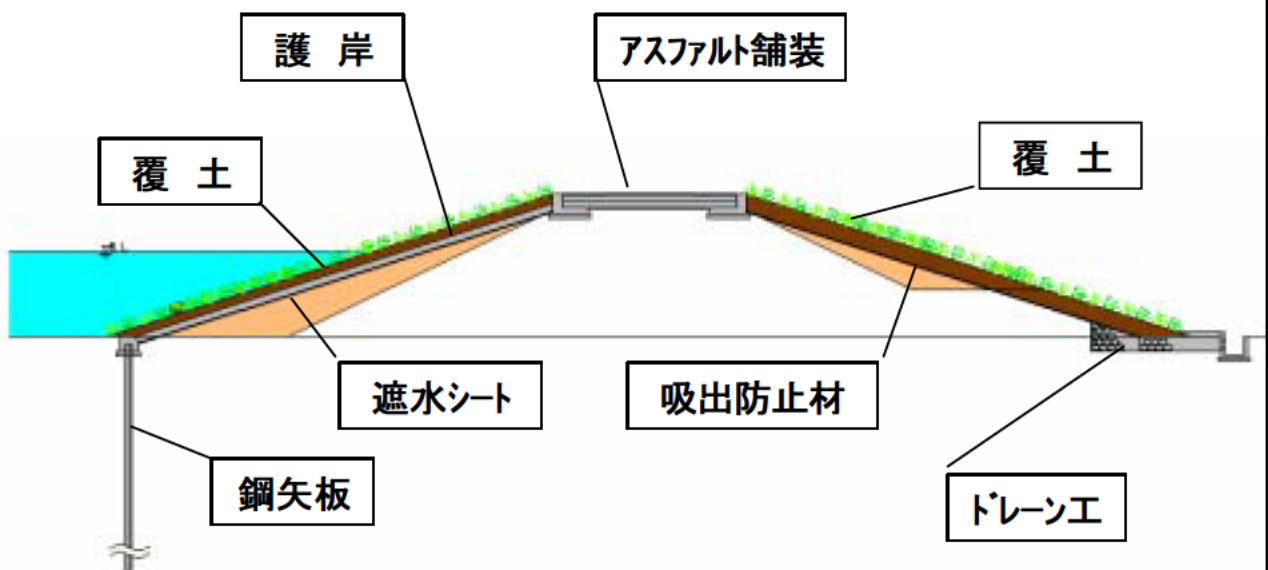
●平面図

桂川



応急的堤防強化区間
L=23km

●横断面図



応急的堤防強化対策の一例

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.14	行	25行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	桂川		
府 県	京都府	市町村	京都市	地先	大下津地区	

●現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針

②堤防強化

破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的な堤防強化を実施。

その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

●位置図



●具体的な整備内容

堤防拡幅を継続 (旧堤撤去を含む)

●事業の数量 諸元等

堤防拡幅
旧堤撤去含む

●事業費

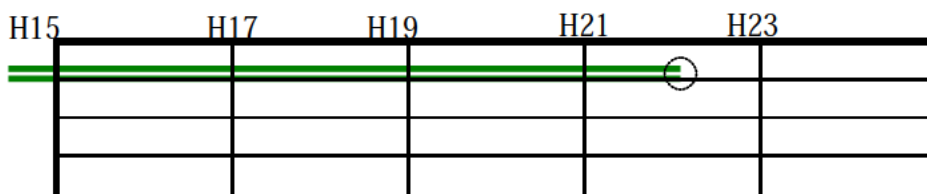
全体事業費 約 400億円

・25 整備計画期間内事業費

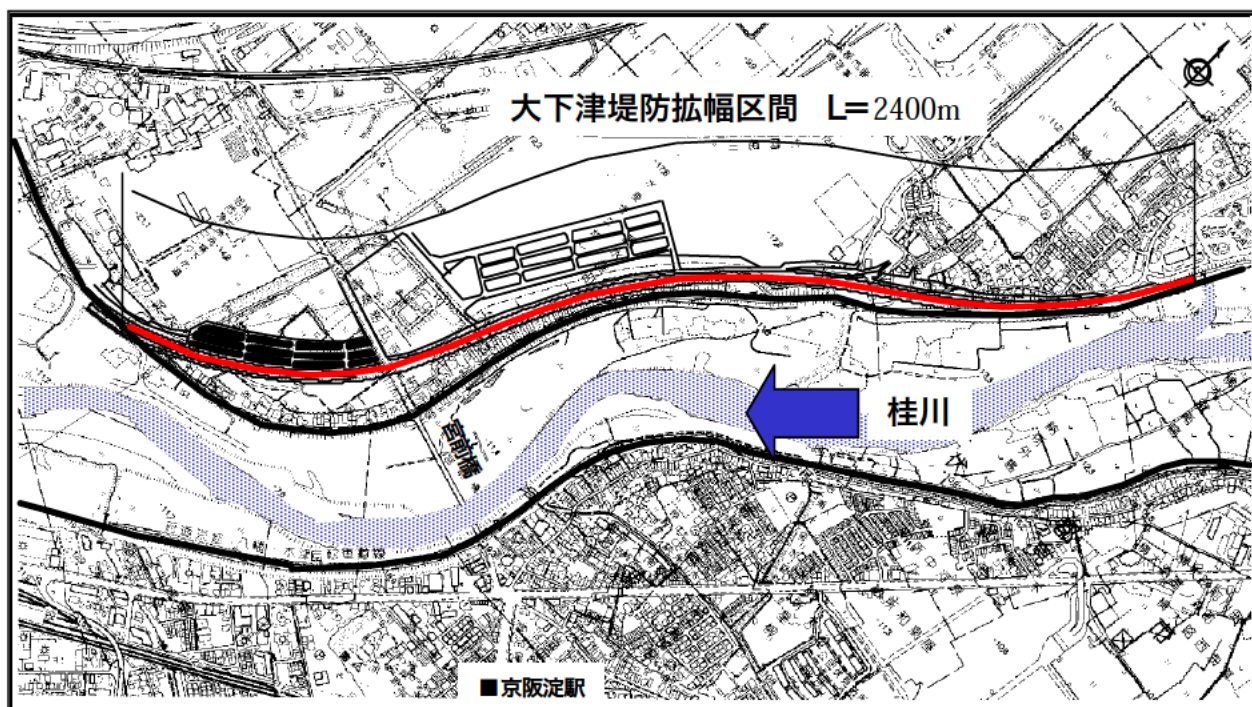
約 230億円

●スケジュール

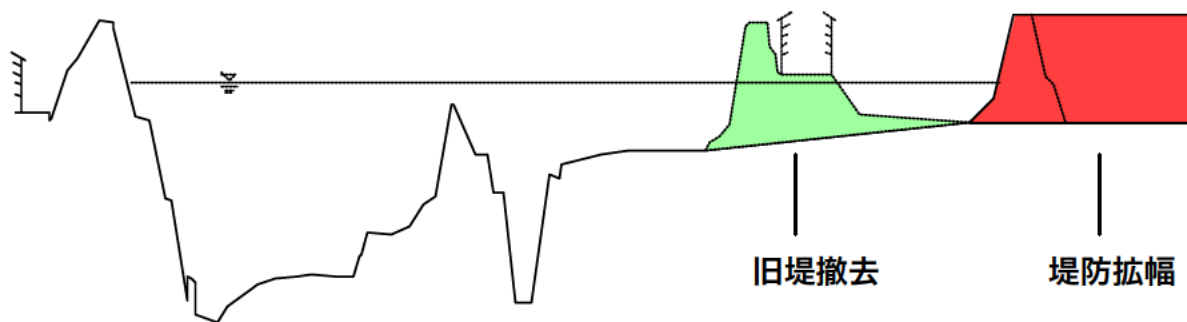
■ 検討
■ 試行 委員会
■ 実施



●平面図



●横断面図

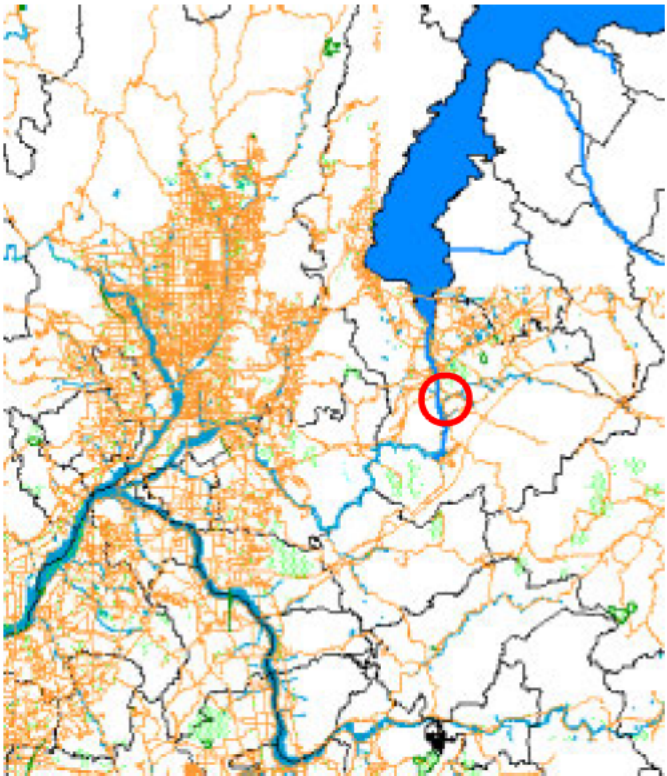


説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.15	行	4行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	瀬田川		
府 県	滋賀県	市町村	大津市		地先	関津 南郷地先

●現状の課題
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大しており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊される。

●河川整備の方針
 ・応急的な堤防強化
 破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえて、順次堤防の応急的な堤防強化を実施する。

●位置図



●具体的な整備内容
 ・堤防強化
 ・応急的堤防強化

事業の数量 諸元等
 応急的堤防強化 約 1km

・〆整備計画期間内の数量 諸元等
 応急的堤防強化 約 1km

●事業費
 全体事業費 約 35億円
 ・〆整備計画期間内事業費 約 35億円

●スケジュール

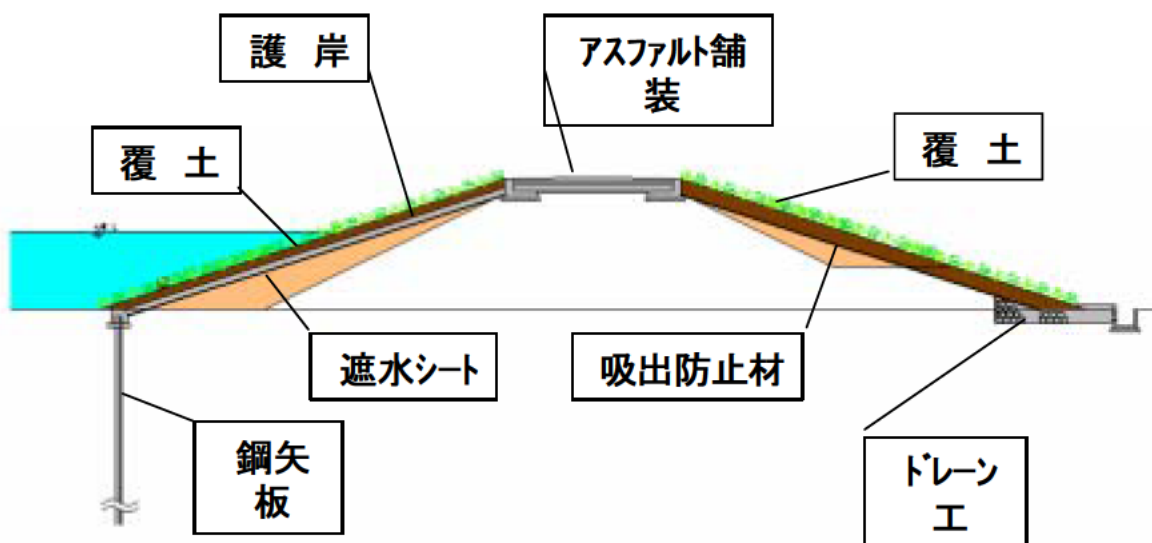
H15	H17	H19	H21	H23	H25
● 検討					
	■ 試行委員会				
	— 実施				

●平面図

瀬田川



●横断面図



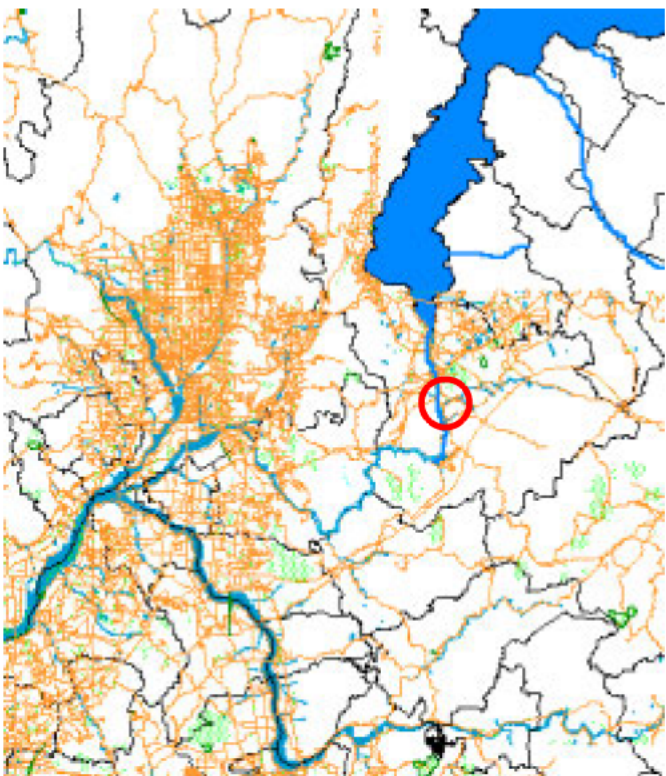
応急的堤防強化対策の一例

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.15	行	7行目
事業名	洗堰から鹿跳溪谷までの河床掘削		河川名	瀬田川		
府 県	滋賀県	市町村	大津市		地先	洗堰～鹿跳溪谷

●現状の課題
琵琶湖洪水後期放流に対して、瀬田川下流部にある狭窄部、天ヶ瀬ダムの放流能力及び宇治川の流下能力が支障となり、湖周囲では長時間にわたる浸水被害が発生している。

●河川整備の方針
瀬田川下流部にある狭窄部(鹿跳)、天ヶ瀬ダムの放流能力不足及び宇治川の流下能力不足により発生する長期にわたる琵琶湖の高水位による浸水被害の軽減を図るため、瀬田川下流部の流下能力の向上を図る。

●位置図



●具体的な整備内容
琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減
洗堰から鹿跳溪谷までの河床掘削を継続実施。

事業の数量 諸元等

岩掘削	10万m ³
土掘削	27万m ³

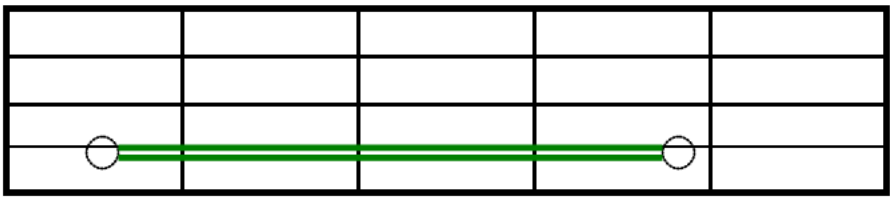
・右整備計画期間内の数量 諸元等

岩掘削	5万m ³
土掘削	27万m ³

ただし、5万m³は施工済

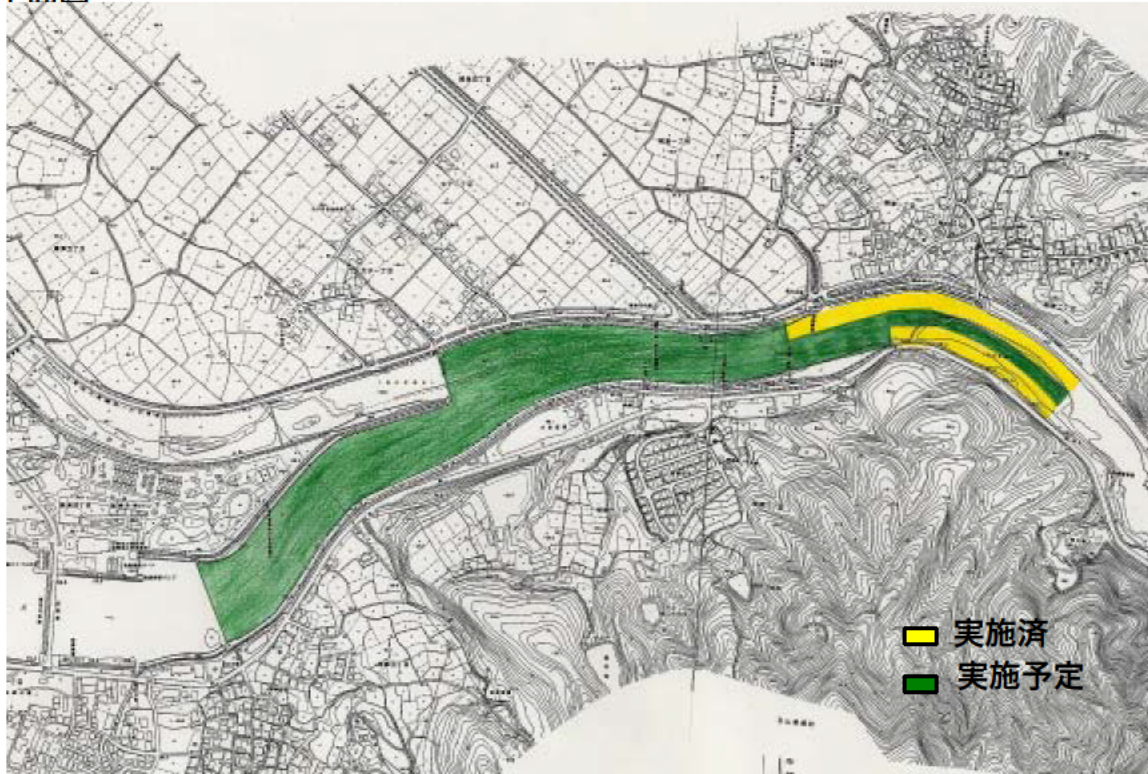
●事業費
全体事業費 約 43億円
・右整備計画期間内事業費 約 36億円

●スケジュール

H15	H17	H19	H21	H23	H25
					

■ 検討
■ 試行委員会
■ 実施

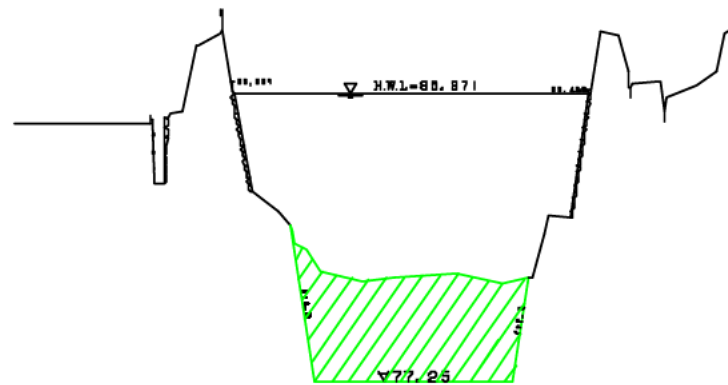
●平面図



●横断面図

河道掘削

88.8K



OBP=75.00

V=1:200
H=1:2000

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.15	行	8行目
事業名	瀬田川下流での流下能力増大方法の検討		河川名	瀬田川		
府 県	滋賀県	市町村	大津市	地先	関津～大石東地先	

●現状の課題
琵琶湖洪水後期放流に対して、瀬田川下流部にある狭窄部、天ヶ瀬ダムの放流能力及び宇治川の流下能力が支障となり、湖周囲では長時間にわたる浸水被害が発生している。

●河川整備の方針
瀬田川下流部にある狭窄部(鹿跳)、天ヶ瀬ダムの放流能力不足及び宇治川の流下能力不足により発生する長期にわたる琵琶湖の高水位による浸水被害の軽減を図るため、瀬田川下流部の流下能力の向上を図る。

●位置図

●具体的な整備内容
琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減
瀬田川下流(鹿跳溪谷地区)の流下能力の増大方法を環境、景観の観点も含めて検討。

事業の数量 諸元等
トンネル案の場合 L= 1, 160m
・右整備計画期間内の数量 諸元等
トンネル案の場合 L= 1, 160m

●事業費「トンネル案の場合」
全体事業費 約 131億円
・右整備計画期間内事業費
約 131億円

●スケジュール

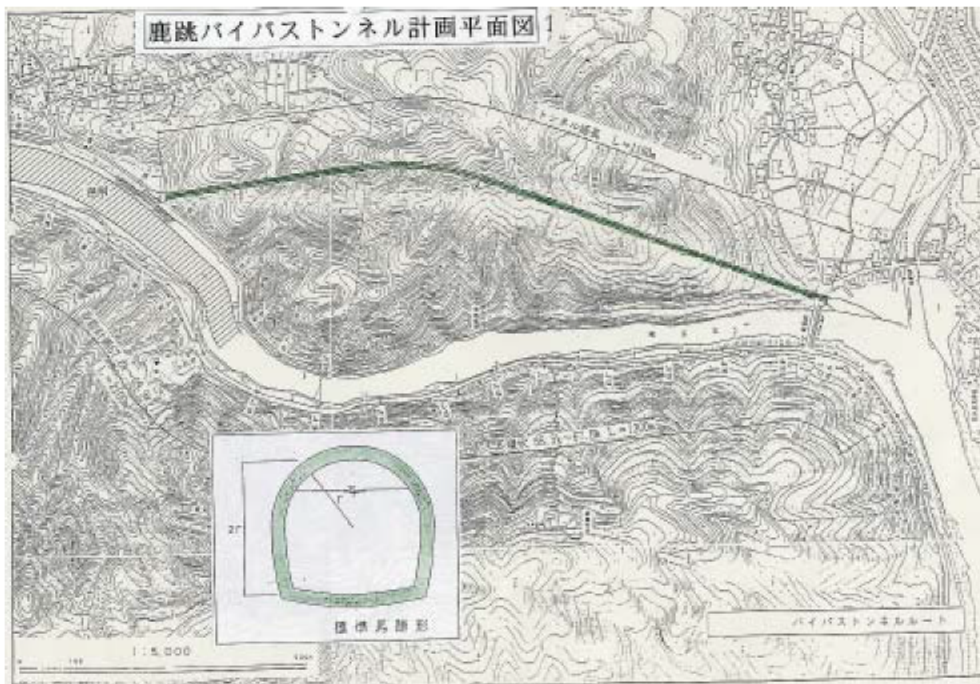
H15	H17	H19	H21	H23	H25
● 検討					
■ 試行委員会					
— 実施					

●平面図



●横断面 構造図)

トンネル案の場合



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.15	行	4行目
事業名	大津放水路事業		河川名	大津放水路		
府 県	滋賀県	市町村	大津市		地先	石山寺一丁目 ～若葉台地先

●現状の課題
 大津市南部を流下する8河川の流域は、都市化が進み資産が集積したが、河川の流下能力が小さく、たびたび浸水被害が発生している。

●河川整備の方針
 下流の破堤の危険性を増大させる無堤部の築堤等は、下流の堤防強化の進捗状況等を見て判断することが原則であるが、既に一連区間の整備が進められてきており、ごく一部の区間のみが未整備である区間等には、速やかに事業を完了し浸水被害の軽減を図る。

●位置図

●具体的な整備内容
 浸水被害の軽減
 大津放水路事業の一期区間 瀬田川～盛越川)を継続実施。

事業の数量 諸元等
 開削水路部 L= 249m
 トンネル部(NATM) L= 411m
 トンネル部(シールド) L= 1, 783m
 分水施設 3箇所
 橋梁 1橋
 ・**うち整備計画期間内の数量 諸元等**
 開削水路部、シールド区間、盛越分水施設、三田川分派施設、各管理設備

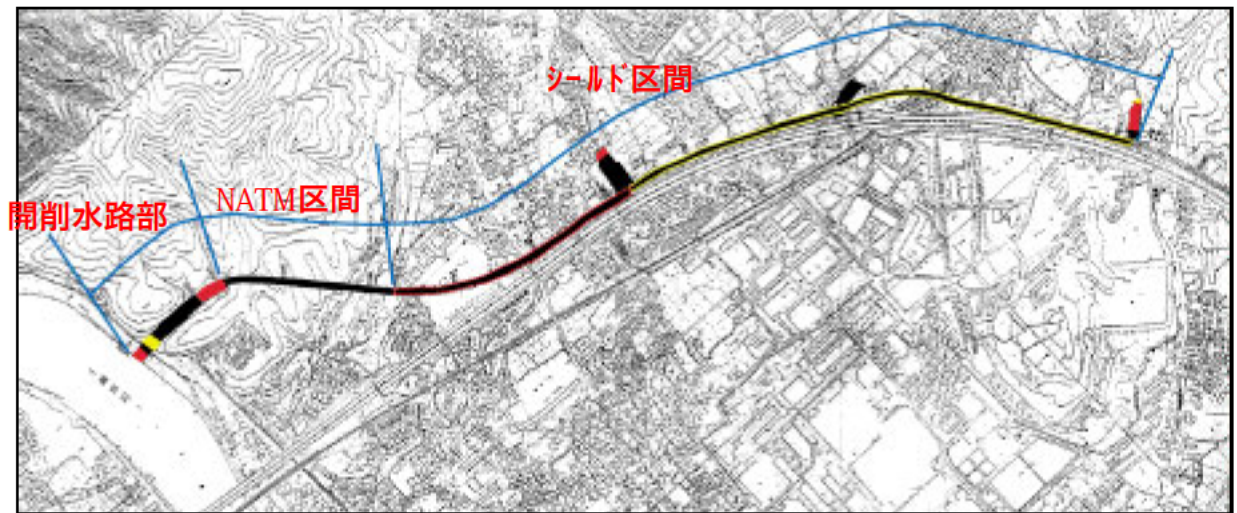
●事業費
 全体事業費 641億円
 ・**うち整備計画期間内事業費**
 61億円

●スケジュール

H15	H17	H19	H21	H23	H25

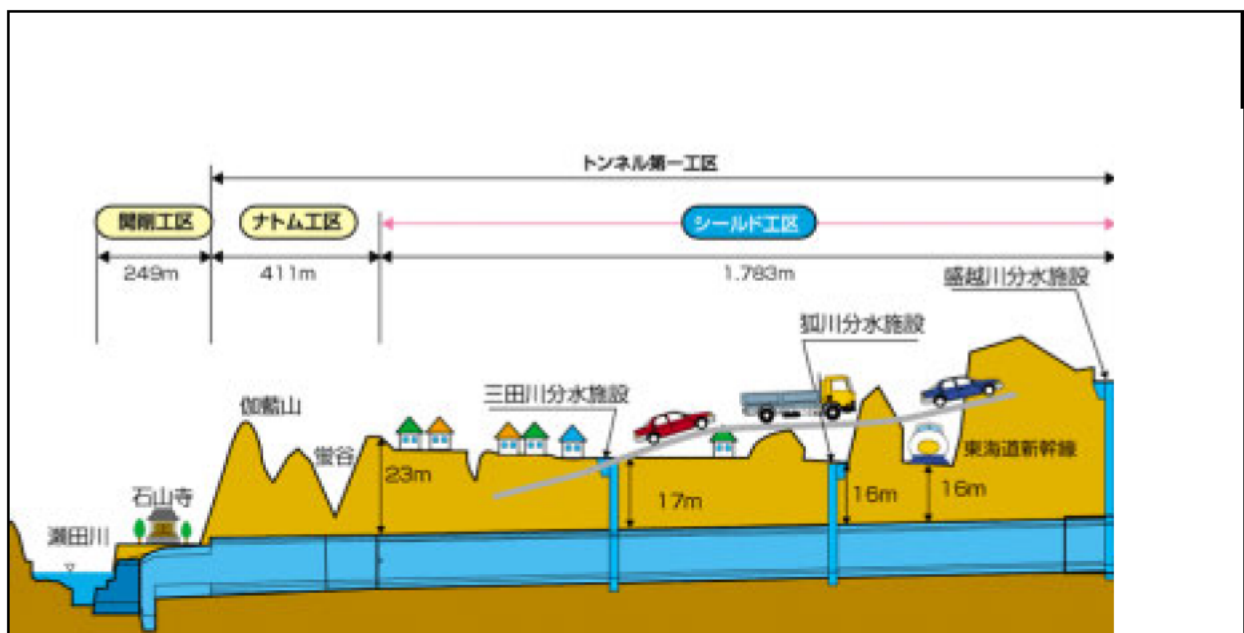
■ 検討
■ 委員会
■ 実施

●平面図



大津放水路一期区間残事業

●縦断面図



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.15	行	17行目
事業名	草津川放水路事業		河川名	草津川		
府 県	滋賀県	市町村	草津市	地先	-	

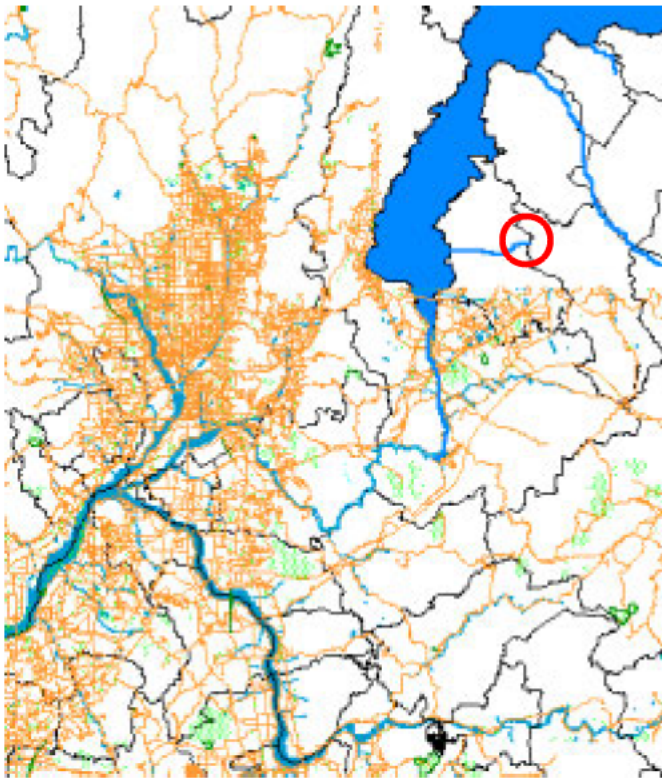
●現状の課題

かつて天井川であったため破堤による甚大な被害を受けていた。それを解消するため、平地化を目的に放水路事業を進めてきた。草津川では引き続き整備中である。

●河川整備の方針

破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえて、順次堤防の応急的な堤防強化を実施する。その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討する。

●位置図



●具体的な整備内容

放水路事業を継続実施

事業の数量 諸元等
 放水路延長 5.5km
 計画高水流量 800m³/s
 掘削工 護岸工
 橋梁

●事業費

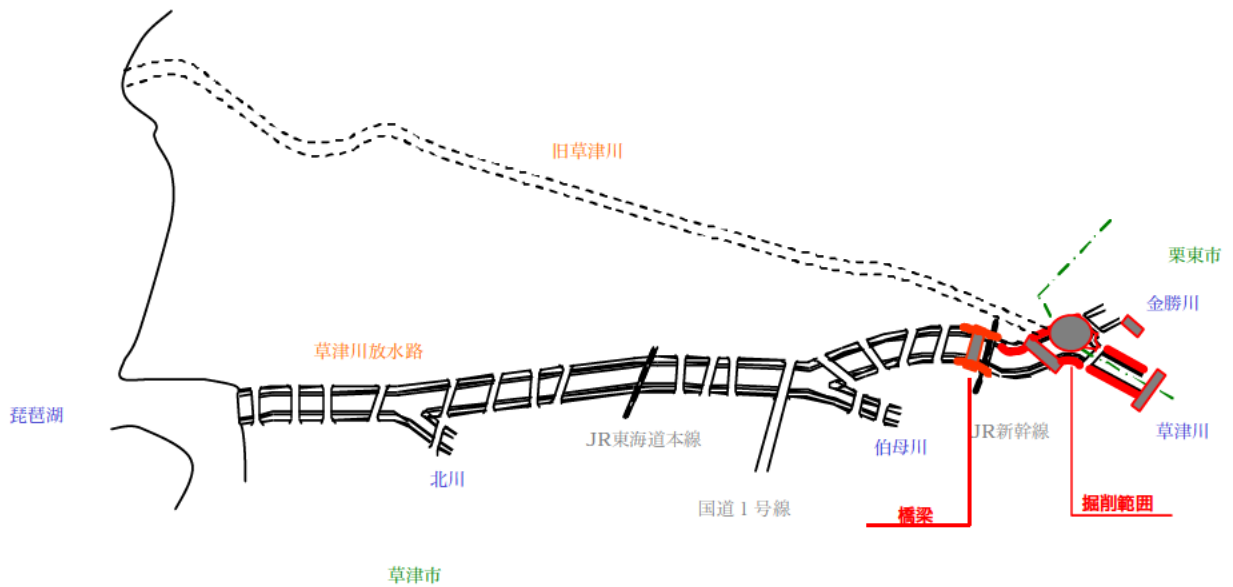
全体事業費 約 834億円
 ・うち整備計画期間内事業費
 約 34億円

●スケジュール

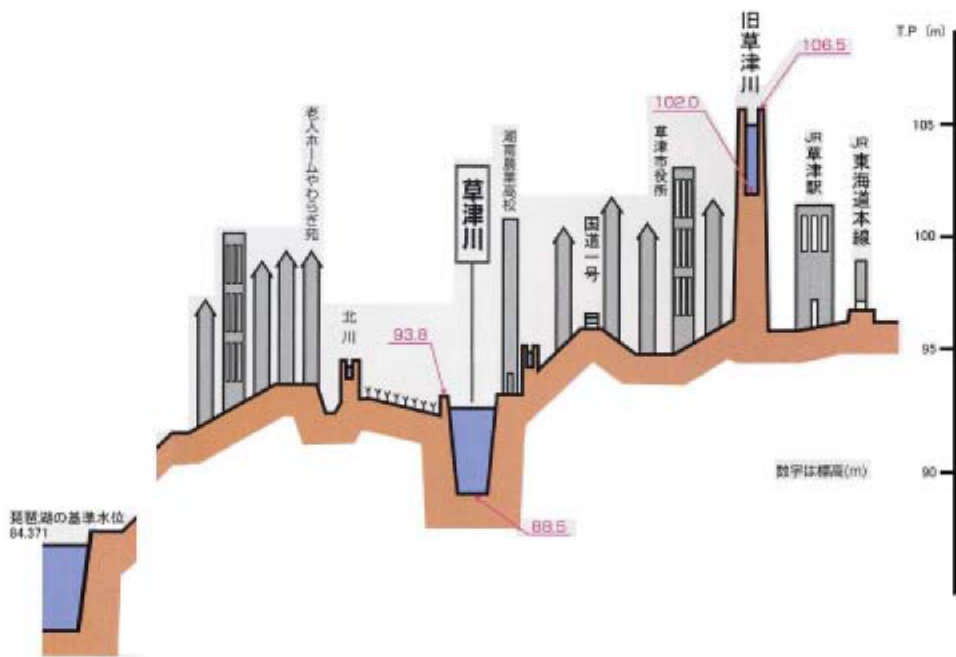
■ 検討
■ 試行委員会
■ 実施

	H15	H17	H19	H21	H23	H25
掘削・護岸工	○	○				
JR補強	○					
側道・橋梁	○			○		

●平面図



●地形横断面図

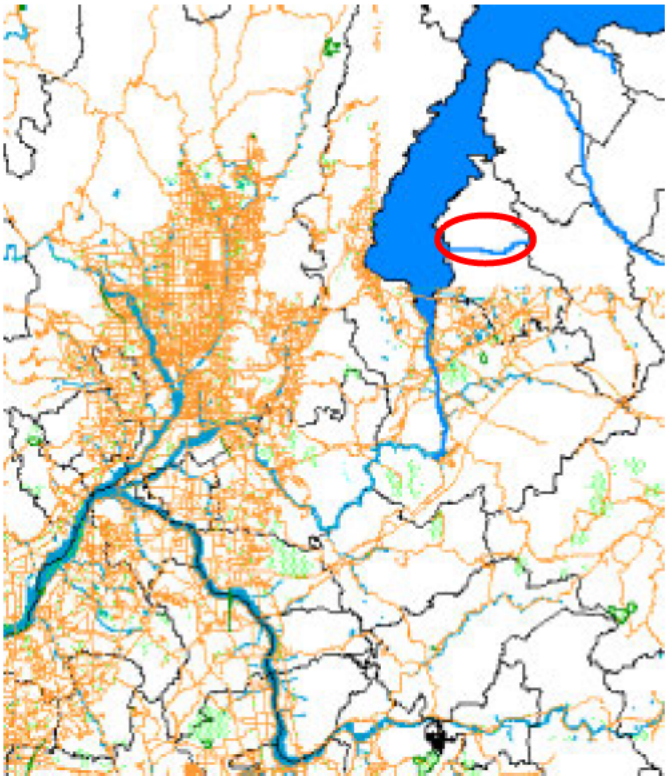


説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.15	行	18行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	草津川		
府 県	滋賀県	市町村	草津市	地先	-	

●現状の課題
現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等も破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針
堤防強化
堤防の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的堤防強化を実施。
その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

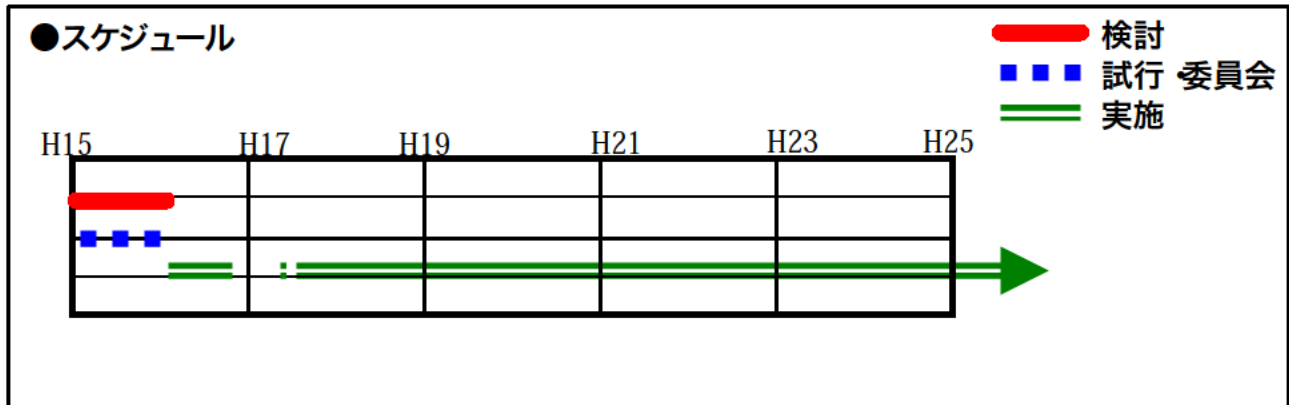
●位置図



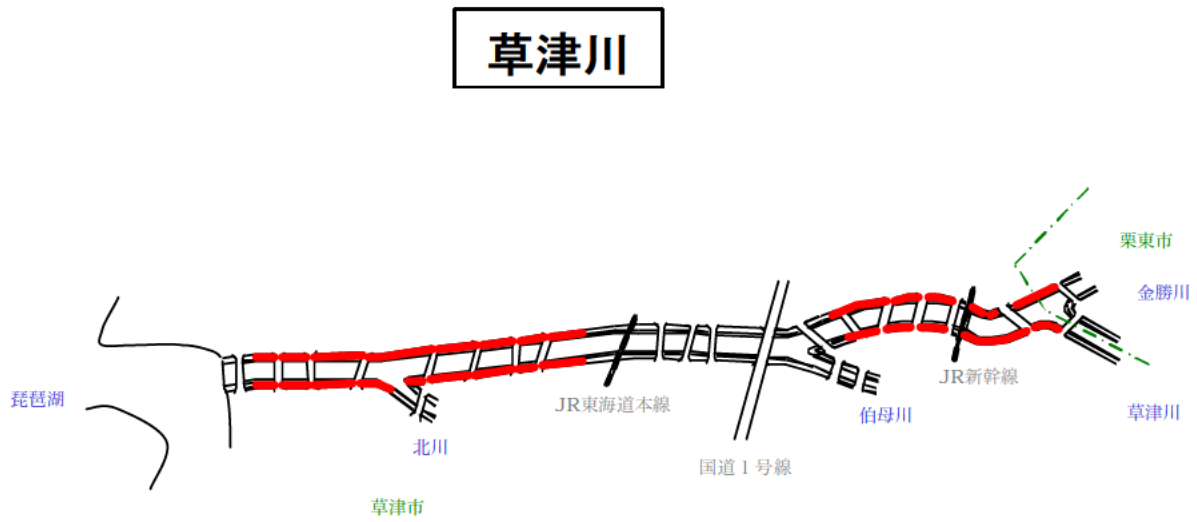
●具体的な整備内容
破堤による被害の回避 軽減
堤防強化

事業の数量 諸元等
L=約7km

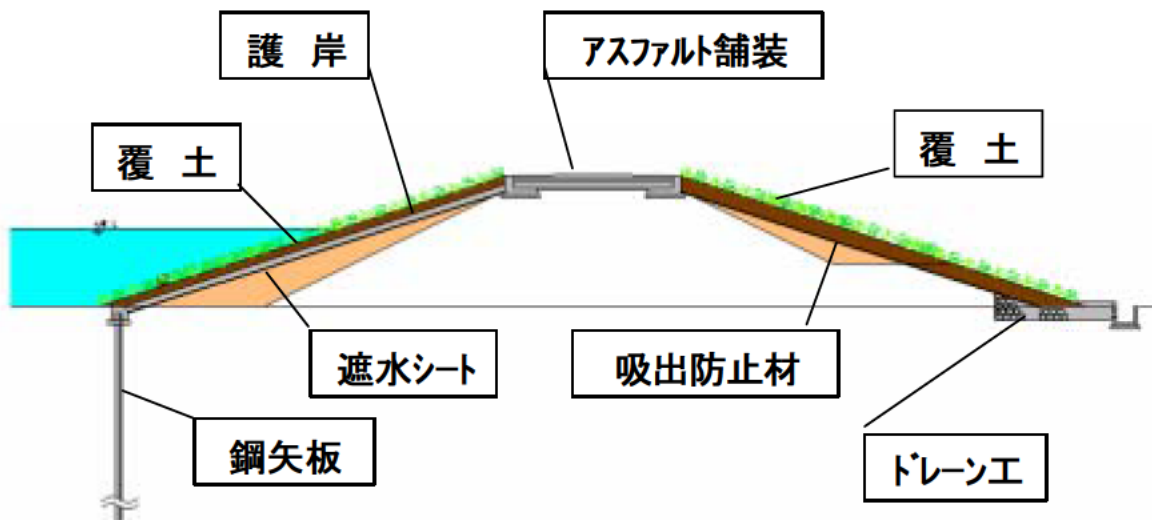
●事業費
全体事業費 約 50億円
・うち整備計画期間内事業費 約 50億円



●平面図



●横断面図



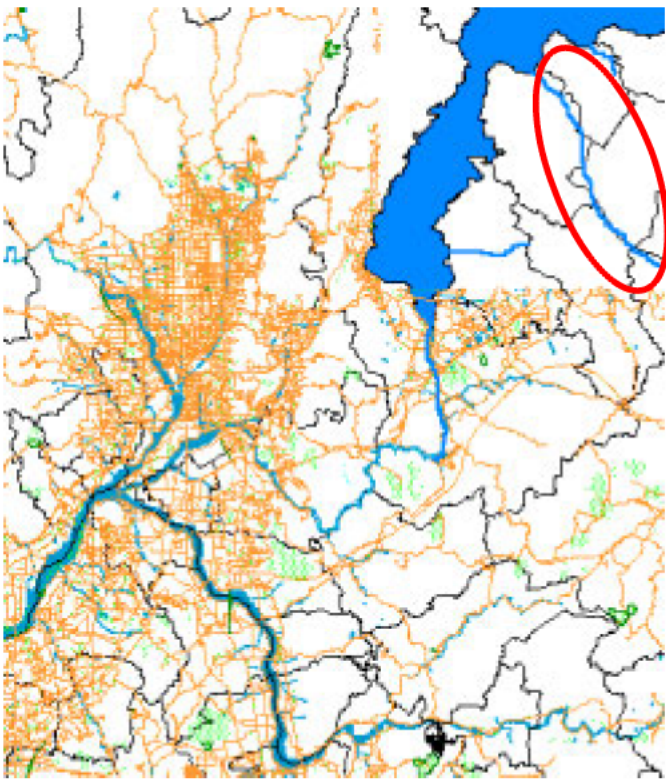
応急的堤防強化対策の一例

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.15	行	行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	野洲川		
府 県	滋賀県	市町村	守山市・栗東市・野洲町	地先	-	

●現状の課題
現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等も破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針
堤防強化
堤防の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的堤防強化を実施。
その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

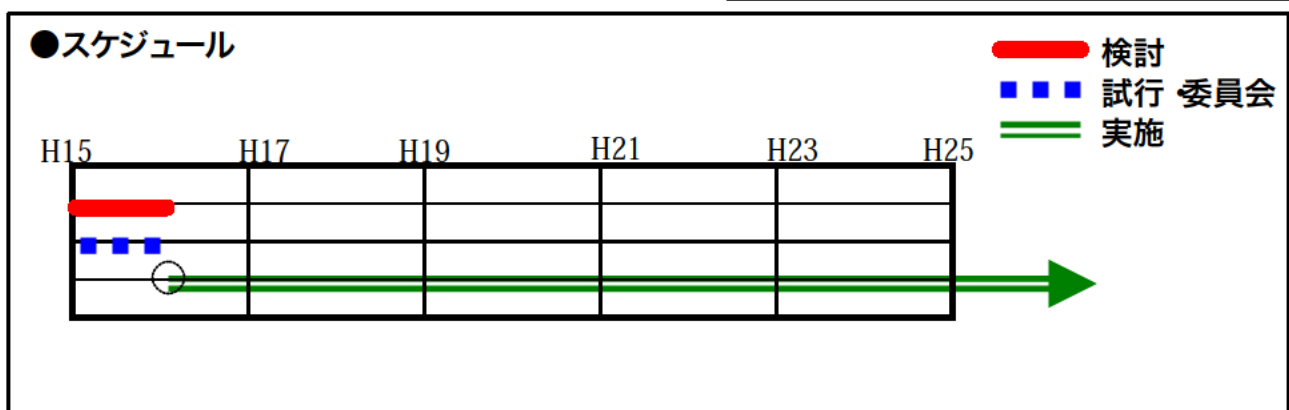
●位置図



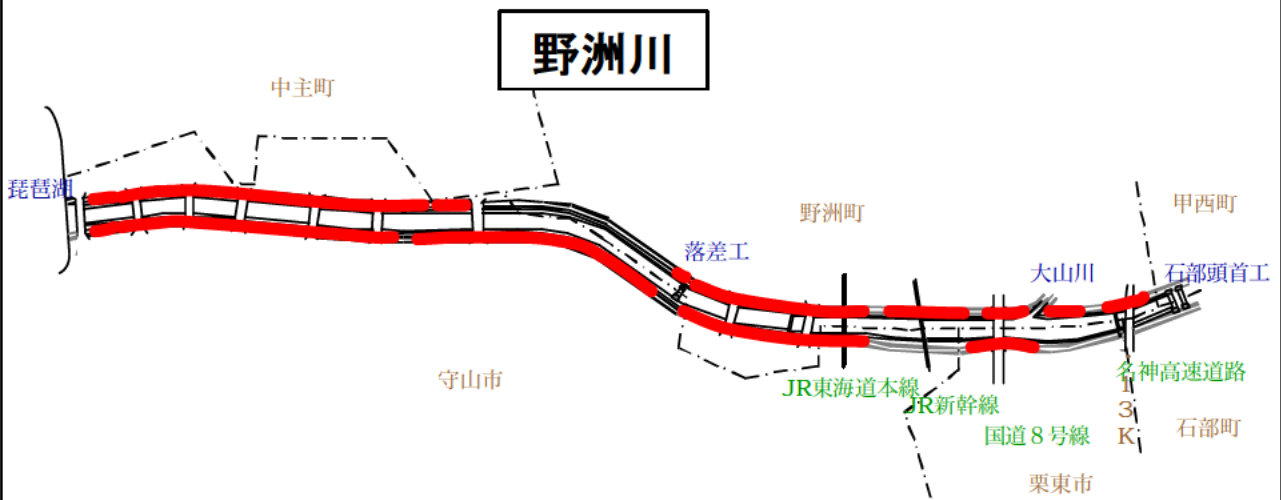
●具体的な整備内容
破堤による被害の回避 軽減
堤防強化

●事業の数量 諸元等
L=約 20km

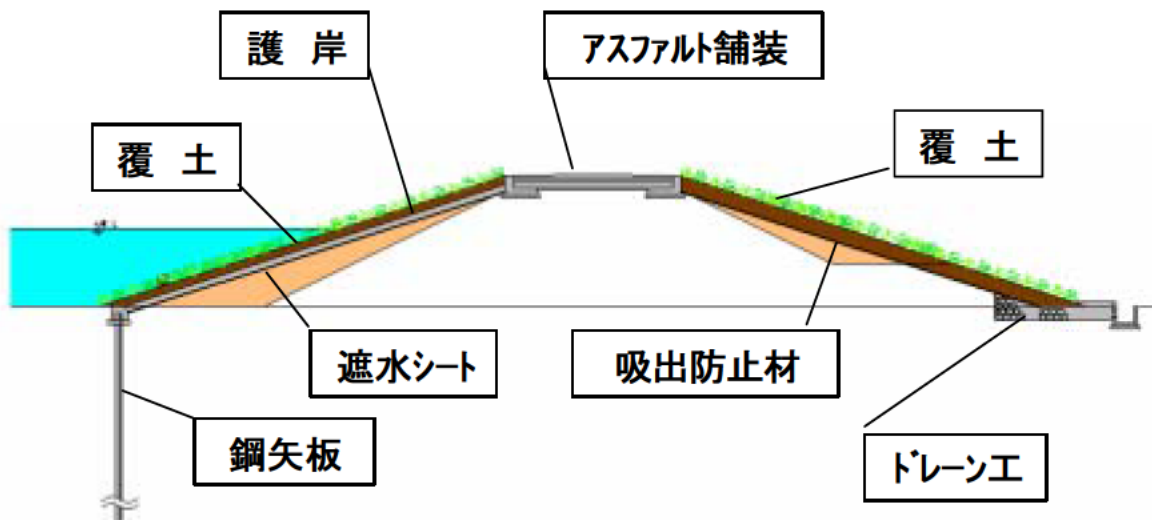
●事業費
全体事業費 約 120億円
・右整備計画期間内事業費 約 80億円



●平面図



●横断面図



応急的堤防強化対策の一例